

定例会議会議録

開催日時	令和5年11月8日(水)午前10時00分～午後0時00分	
開催場所	特別会議室、公安委員会室	
区分	『全体会議』議題・要旨	主管部
【審議事項】	<p>1 「令和6年宮城県警察運営指針等(案)」の策定について 以下のとおり策定したので、御審議いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運営指針～県警察運営の大綱方針 安全安心な地域社会の実現 ● サブタイトル 社会の変化に的確に対応しつつ、県民一人一人の期待と信頼に応える警察活動の推進 ● 運営重点～県警察として県民に示す特に取り組むべき重点取組 <ul style="list-style-type: none"> ○ 特殊詐欺根絶に向けた総合対策の推進 ○ サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進 ○ 犯罪抑止総合対策と少年の健全育成活動の推進 ○ 県民に不安を与える犯罪の徹底検挙と暴力団等組織犯罪対策の推進 ○ 交通死亡事故の抑止と飲酒運転の根絶 ○ 災害・テロ等緊急事態への迅速・的確な対応 ○ 変化する社会に向けた警察組織の充実と強化 ● 基本目標～県民に公表する取組目標 <ul style="list-style-type: none"> ○ 刑法犯認知件数の抑止(目標数値を公表) ○ 交通事故死者数の抑止(目標数値を公表) <p>運営指針とサブタイトルについて、警察の普遍的な役割であり、引き続き、県民一人一人の期待と信頼に応える警察活動が必要と考え、それぞれ継続することとした。</p> <p>運営重点の「災害・テロ等緊急事態への迅速・的確な対応」について、災害・テロ等緊急事態への対応には、迅速さも求められることから、「迅速」という文言を追加した。「変化する社会に向けた警察組織の充実と強化」については、組織の充実・強化のためには、今後の人口減少や少子高齢化社会の到来等の社会の変化を見据えて取り組んでいく必要があることから、文言を変更した。昨年の「G7広島サミット・G7仙台科学技術大臣会合等に向けた総合対策の推進」は、G7等の各種行事の終了に伴い削除することにした。その他の項目は、令和6年も引き続き継続する。</p> <p>基本目標は、「刑法犯認知件数の抑止」「交通事故死者数の抑止」とともに、県民が県警察の取組や治安情勢を判断するのに身近で理解しやすい数値であることから、令和6年も継続とした。</p> <p>なお、基本目標の具体的な数値については、12月末の数値を踏まえた上で、策定し報告する。</p> <p>委員：今回変更した運営重点の文言については、強い意志の表れで妥当であると思う。 一方で、昨年から継続のものは抽象的な表現が多く、もっと具体的な表現の方が県民に伝わりやすいのではないか。特に増加傾向にある、特殊詐欺・サイバー犯罪・性犯罪・飲酒運転等に係る項目は、より強調した表現にするべきではないか。</p> <p>生安部長：本年5月に特殊詐欺プロジェクトチームを設置し様</p>	総務部

	<p>々な対策を講じているが、今後この取組を検証した上で更なる対策を強化していきたいと考えているため、現段階においては昨年と同様としている。</p> <p>サバ一統括官：サイバー空間と表記することにより、犯罪を限定することなく広域的に表現しているものである。</p> <p>刑事部長：性犯罪のみならず、殺人等の重要犯罪も増加しており、包括的な意味で「県民に不安を与える犯罪」と表現せざるを得ないところである。</p> <p>組対局長：暴力団自体は減少傾向にあり、最終的には「壊滅」を目的としているものであるが、この他準暴力団や匿名流動型グループなど、総合的に対策を行う意味合いで暴力団等組織犯罪対策と表現している。</p> <p>交通部長：平成20年に県の飲酒運転根絶条例が制定され、様々な機関でこの条例に基づいての取組が示されているため、それらの整合性から「飲酒運転根絶」という言葉を使用している。</p> <p>委員：取組を継続する意味で同じ表現を使用することは問題ないが、県民に対しより強くメッセージが伝わるよう、今後具体的な場面で示していったほしい。</p> <p>以上の審議の結果、了承された。</p>
--	--

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』	
【 決 裁 事 項 】	1 保有個人情報開示請求書の受理と保有個人情報の開示をする旨の決定について	総 務 課
	2 苦情の受理について	総 務 課
	3 苦情の調査結果及び通知案について	総 務 課
	4 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	運 転 免 許 課
【 報 告 事 項 】	1 令和4年度における特定秘密の保護措置等の実施状況について	公 安 課